



ナパ・ヴァレー・ヴィントナーズの駐日代表に白須知子氏が決定

2011年1月26日、カリフォルニア、セント・ヘレナ発：アメリカの代表的ワイン産地ナパ・ヴァレーの約400のワイナリーが加盟する非営利生産者団体、ナパ・ヴァレー・ヴィントナーズ（NVV）は、本日付で、白須知子氏（ヴィノソフィア代表、米国ワイン・エデュケーター協会認定ワイン・エデュケーター）を日本市場における代表とすることを決定しました。白須氏は、日本のワイン業界、メディア、消費者を対象とするナパ・ヴァレーの知名度の向上と、ナパ・ヴァレー・ワインの流通拡大活動に向けたNVVの活動を担当します。

NVV会長、キャスリン・ハイツ・マイヤーズは、「私達は、ワインに関する知識と日本におけるワイン・マーケティングの豊富な経験を有する白須氏がNVVのチームに加わったことを大変嬉しく思っています。これにより、NVVは、ナパ・ヴァレーのワインにとって、長年にわたり重要な輸出市場である日本へ、今後もより多くのワインを供給することができるよう、活動を続けていきます。」と、語りました。

ナパ・ヴァレーのワインは、ぶどう生産量ベースではカリフォルニア全体の約4%であるものの、高品質ワインの占める割合が高く、カリフォルニアワイン産業全体がアメリカに与える経済効果の約3分の1をナパ・ヴァレーがもたしている程です。そして、過去数10年にわたり、ナパ・ヴァレーは、ぶどう栽培・醸造の分野における様々な技術革新で世界をリードし、現在では世界トップクラスのワイン産地として認められています。また、ナパ・ヴァレーのワイン生産者は、環境保全の分野でも長期にわたって指導的役割を果たしてきました。“ナパ・ヴァレー農業保護区”のプログラムは、農業用の土地を保全することを目的に1968年に設立された、この分野ではアメリカで初めての取り組みです。この先進性は、現在では、“ナパ・グリーン・サーティファイド・ランド・アンド・ワイナリー”という、環境保全型ぶどう栽培とワイン生産の革新的な認証プログラムに引き継がれています。

白須氏は、「ナパ・ヴァレー・ヴィントナーズの駐日代表に選ばれたことを、大変嬉しく名誉に感じ、ナパ・ヴァレーのワインが日本市場でより良く理解され、より多くの消費者に楽しんで頂けるように、日本での活動を行って参ります。」と、語りました。

<ナパ・ヴァレー・ヴィントナーズ (The Napa Valley Vintners) について>

ナパ・ヴァレー・ヴィントナーズは、優良ワイン産地としてのナパ・ヴァレーの発展に寄与し、その原産地呼称を保護することを目的に設立された非営利生産者団体です。

1944年にわずか7つのワイナリーによって創設されて以来、現在では約400のワイナリーが加盟し、世界のワイン産業においても指導的役割を担う組織となっています。ナパ・ヴァレーのワインに関する詳細な情報は、www.napavintners.com (英語)及び www.napawine.jp (日本語)でご覧頂けます。

<ナパ・ヴァレー・ヴィントナーズ 日本事務所 連絡先>

駐日代表 白須 知子

156-0053 東京都世田谷区桜3-28-10 ヴィノソフィア内

電話： 080-5051-1151 e-mail: tshirasu@napavintners.com